



# 一関の 特集「聖地」を目指す Motivation もちベーシヨン

焼いても、揚げても、凍らせてもうまい。ごはんにも、おかずにも、おやつにも、つまみにもなる。わんにも、皿にも、どんぶりにも合う。一言では語れないその魅力、一口でわかるそのうまさ。

一関の人たちは、古くからもちを食べてきました。年中食べてきました。長い歴史の中で単なる「食」としてだけではなく、「文化」として育んできました。そのもちを含む「和食」が、ユネスコの無形文化遺産に登録されることになりました。一関のもち食文化が、世界に認められたのです。

「くるまる」「かたまる」など、もちには人がつながったり、地域がまとまったりする言葉が宿っています。もちがあるところには人が集い、活気が生まれます。さあ、「もちの聖地」へ向け、前に進んでいきましょう。今号は、人ともちとのすてきな関係に迫ります。

## あい な人 File\_20 いちのせきを愛する人

愛馬と共に通学路を除雪して43年

## 小岩明美さん

Koiwa Toshimi 72 狐禅寺

愛馬と共に通学路を除雪作業に励む狐禅寺の小岩明美さん。長男の誕生を記念して「地域のために何かできることはないか」と始めたボランティアの除雪作業は43年になる。「10センチ以上積もったら除雪している。今シーズンは4回くらいしたかな」とやさしく話す。子供たちが安心して歩けるようにと登校前はもちろん、雪が多いときは下校前に除雪することも。「科学や技術が進歩した時代に馬で作業するなんて時代遅れだが」と笑う。

除雪作業で活躍する愛馬は、体高約85センチ、体重約200キログラムの芦毛のポニー「小五郎」(牝、8歳)。小柄でとても愛嬌がある小五郎は、昨年8月から明美さんのもとで暮らしている現役の「鞍馬」。鞍馬レースで何度も優勝している力自慢だ。愛らしくて遅い小五郎は地域の人気者。作業中に子供たちと触れ合う場面も少なくない。「とてもほほ笑ましい」と語り、「小五郎もうれしそうだ」と目を細める。

防犯協会に所属する明美さん。春から秋にかけては、小五郎に乗って登下校の見守りもしている。「未来を担う子供たちを守りたい。大人の使命だ」ときっぱり。やさしく、ときに厳しく、年中見守り続ける頼もしい存在だ。

自他共に認める筋金入りの馬好き。愛馬のために、決して安くはない専用シャンプーを購入する。「みんなに『きれい』と言われたり、振り返ってもらったりすることがうれしい」と、自慢の毛並みに磨きをかける。また、削蹄したり、蹄鉄を打ったりするなど、馬体の日常管理も全て自分で行う。「馬の目を見れば健康状態が分かる。人が気付いてあげないと」愛情たっぷりに健康チェックを欠かさない。

本業は造園業。仕事を終えてからの小五郎

子どもたちを守るために続ける「俺流」の応援—これからも。




の世話は深夜に及ぶことも。「馬との暮らしは昔から続けてきたこと。これが日常」と話す一方で「家族の理解と協力があってこそ」と心から感謝する。

明美さんのもとには市内をはじめ、東北各地から祭りなどへの協力要請がある。自らも県内外の鞍馬競技大会に出場するなど、小五郎と二人三脚で人生を謳歌する。

雪解けを迎えた。春の日差しを浴びながら、「今年も無事に除雪を終えた。50年は続けたい」と小五郎の頭をなでた。

### Profile


1941年生まれ。創業50年「造園千歳」代表。造園技術を生かし市教育委員会生涯教育講座で庭園・庭木教室の講師を務める。一関地域防犯協会副会長、同協会狐禅寺支部長、一関地区防犯連合会副会長。妻周子さん、長男夫婦、孫の6人暮らし。一関市狐禅寺在住、72歳。



**レンタルをあげる サンメディカル!**

お客様の最適な福祉用具を選ぶお手伝いをいたします。皆様のご来店をお待ちいたしております。

～福祉用品の販売・レンタルから  
住宅改修まで～



## サンメディカル

### 福祉用具フィッティングセンター


■営業時間  
午前9時～午後6時

■定休日  
土・日・祝日

**☎0191-48-3682**

一関市萩荘字金ヶ崎18-1  
FAX.0191-48-3683

営業所>>>盛岡(本社)・矢巾・大船渡  
北上・一関・戸宮古・八戸・秋田・古川



株式会社 **サンメディカル**